



第1回大会で放流される皇太子殿下・同妃殿下(当時)
【大会記念誌から転載】

海づくり大会の開催は、本県水産業を全国に発信する場として絶好の機会になる。早い時期の大会招致について検討したい。

広瀬勝貞知事は5日、県議会令和3年第1回定例会において、古手川正治氏(自民党)の代表質問に対して答弁した。(▼4面「水産関係質問の要旨」に詳細)

大分県、2巡目 早期誘致 検討へ

全国豊かな海づくり大会

佐伯カキに大臣賞

JF大分

JF全漁連が2日に開催した第26回全国青年・女性漁業者交流大会において、本県を代表して佐伯市シングルシード養殖協議会(宮本新一代表)が「カキ養殖のパラダイムシフトを目指して!日本初のシングルシードカキ養殖システム」と題して発表した。審査の結果、漁業経営改善部門の最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞した。

催 評開イ消くす赤は導の雅
し当価さムにのる潮、入講昭鹿
て漁しれシつ業。に効さ評教児
代協た得フな者機強率れを授島
表は。るトがを械く的た発は大
を隔 技でる助の魚でこ表W学
選年 術あ。け共類省のしE水
びで 全 あり、有養力かたB産
全 国大 大会を 高にラ足で共ら技で結佐
に開 展ダ解多存れ術初果野

水産おおいた

発行元
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

祭念 推(予5日 ててにに天展明り国川の料卓は
をし本進以定年に今以第都皇を日育民の保をに、全
実て県協上さに宮後る来1道皇はのてに環護届、魚国
施、で会、れ北城は。、回府后かわる訴境、け安食豊
し次はH全て海県、 毎が県両るが漁え保管る全国か
て年、P国い道、令 年大ご陸こ国業る全理たでな海
い度第か豊るに4和 地県と下と漁ののとめ美あ海
る以1らか。お年3 地県と下と漁ののとめ美あ海
。降回引な けに年 地で昭臨目の進も切や、し日く
水大用海 る兵1 開開和席的振をにさ湖水い本り
産会一づ 開庫0 催催5のと興通、を沼産水人大
振をく 催県月 ささ6もしとじつ広・資産の会
興記 り が、3 れれ年と、発てくく河源食



知事に受賞を報告

トは臨
「白ん
が津で
、まい
第きる
2網。第
回年2
大部4
会「回
でネ大
はク会
県スで



第1回大会の海上パレード
【大会記念誌から転載】

監監に 付
が佐農の大
(水昇藤林人分
産任章水事県
担し商産異は
った工部動は
。観関を9
は景光係内日
漁平労で示、
業真働はを4
管明部、し月
理審審部た1
課議議長。日

佐漁興水課長
土村局産長兼
木整農振に務
事備山興高を
務課漁課野免
所長村長英ぜ
長に振に利ら
が広興大水れ
就津部屋産、
任留長寛振漁
す慶、南興業
る朗漁部課管
。宇港振長理

県農林水産部長に 佐藤 章氏

者り素肥性「し代 産し漁
に、晴料を作、表3斤、協
エ活らと向業受は0長い青
「躍しし上効賞県日官ず年
ルをいたさ率を斤、賞れ部
を祈取りせの報に山をも佐
贈念組赤、高告広本受最賀
っす。潮廃いし瀬組賞高関
たる更を棄方た知合し賞支
。」な抑す式。事長てに部
とる止るで知をとい次が
生広す般生事訪宮るぐ発
産がるを産は問本。水表

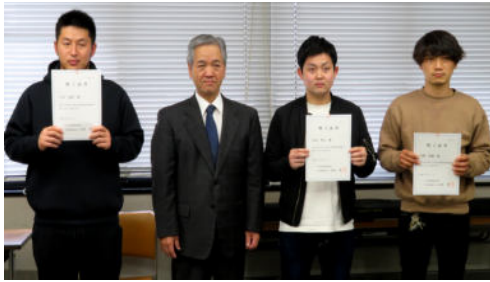


WEBで講評する佐野教授

<https://www.youtube.com/watch?v=EjI7FnEGHKI>

発表原稿は下記↓ 講評は上記↑
<https://www.zengyoren.or.jp/ni-naite/kouryu/download.php?do>

令和2年度大分県漁業学校修了



左から吉良さん、山本組合長、山田さん、川野さん

連携し、本県では、漁業への就業を希望する者に、漁業の知識や技術を習得してもらおう。年間習得基礎知識研修と漁労実習で120時間学ぶ。組合長は、漁業者の減少が進む中、漁業法が改正され新しい資源管理が始まる。さらに、事業など研修で学んだ制度も活用し、活躍してほしいと激励した。学校を修了し、一定の要件を満たす人には、県青年就業準備給付金も支給されたい。3人には、浜の新戦力として頑張ってもらいたい。

本年度の大部分は、全国の漁業学校に修了した。白杵支店の川野洗騎さん（はえ縄漁業）と吉良晶悟さん（潜水設置漁業）の3名に山本組合長から修了証書を授与した。



青年漁業士 後列中央山本さん
前列左江本さん、前列右吉良さん

認定証授与式を開催。本年度の漁業士
所・江本政樹さん（国見支
店・タコぼ、潜水）、吉良
勇佑さん（白杵支店）、
一本釣さん、山本秀幸さん（下

入津支店・魚類養殖の3名が青年漁士に認定された。平成では、県農林水産部の景平式で、審議監が「県との連携を深め、施策提言、後継者指導、漁村活性化など、活躍を期待する」と激励した。認定者を代表して吉良氏が「地域水産業の発展と明るい漁村づくりのため努力する」と決意を表明した。

資質向上と自立意欲向上を目的に、国の事業として昭和61年度から実施されてきている。75名、指導漁士120名を認定している。

青年漁業士3名を認定

大分県 後継者指導や漁村活性化で活躍を



豊漁向洋的は状サ・が調太回つ・
 後がで系好小況バ北少な平復い北
 水継あ群漁サ一郡な状洋すて郡
 道続りはでバ続漁海い況全るは海
 南し、Hあ主い獲域状が体も、域
 部に東2っ体て量の況続の近Hの
 に日5たにいはサがいマ年2マ
 は本年。近た、バ続てアは6ア
 太。を以降サで、年が近類いおジ
 平大中心降バはR低主にり資少頃
 洋分心に復太比2調なる加も向一
 系でも好傾平較年なマ。入低。時

「佐賀関一本釣り」と白津まき
網漁業との調整会議」を開催
関係漁業者が県水産研究部の
調査報告等を受け協議し、例
年どおり協定を結ぶことで合
意した。月末までに双方の休
漁日が決まる。

中尾研究員による本年度の
調査中間報告の要旨は次のと
おり。

○漁獲動向について

タチウオ検討会を開催

13日、県水産会館において令和2年度大分県タチウオ漁業者検討会を開催した。

県農林水産研究指導センターの横山研究員から資源調査結果について、県水産振興課の倉橋課長補佐から愛媛県大中型まき網漁業との協議経過等について説明があり、本年度の資源管理措置について検討した。この結果、昨年度と同様の禁漁区、5～6月における休漁日の設定により漁獲努力漁を削減することとなった。

また、県内外の遊漁者による採捕が多いことから、遊漁船にビラを配布し資源保護を促すこととした。

(▼6面に資源調査結果の概要)



のマサバが来遊するようになるが、豊後水道北部には来遊していない。
 ○卵の出現について
 ・R2のマアジ卵は豊予海峡を中心にして4月中旬から7月中旬まで出現し、5月下旬から6月上旬が盛期であった。分布密度も出現点数ともに年より多かった。
 ・R2のマサバ卵は豊予海中を中心にして5月上旬から7月中旬まで出現し、5月中旬が盛期であった。分布密度も出現点数ともに昨年よりも多かった。
 ○マアジの資源量推定について
 ・コホート解析によりマアジの年齢別資源量を推定した。資源の主体は1〜3歳魚で、

近年は減少傾向にあると推定
 された。しかし、近年の推定値に
 いたっては、改良の指標値の一つ
 ・資源量の良好な推移を見ると、
 近年はCPEの本釣りは横ばいの傾
 向にあり、1ホー ト後は努力量を
 とや異なる。今後は解析の結果量
 の変化などもある。今後は解析を
 検討する。

○今後の調査について
 ・現状の調査を引き続き精力
 的に実施。調査を引続き精力
 ・推定精度向上には、資源量
 ・小サバが非常に多く、R2は
 小サバは増加期には成長の鈍化
 サバは年齢の遅れなど生じた
 や成熟年齢の遅れなど生じた
 変化が見られる。深く調査した
 い。

マ技オ究マ予は 画開会野
ダ術ニ(サ海、3を催館英大
コ開オ以バ峡資年承しに利分
の発コ上の周源度認、お会県
資及ゼ、資辺情のし令い長資
源び、水源に報調和て(源
生漁キ産生おの査。3臨は管
態獲ジ研態け収、年時2理
把実ハ究にる集、度総5協
握態タ部関マ発究、の会日議
(把の、すア信計、事開、会
以握放、るジ、画、業催水(高
上、流、研・豊、計を産高

大分県資源管理協議会臨時総会開催



し行試山重管研 「北
たっ験研要理究この部
いたに究な協はの部
。関員調定2う水産
機すは査締頁ちマグ
会るマで結にアル
を興ダあ、掲アル
見味コるの載ジ
つ深の。根し・プ
けい人当抛たマ
て報工日と「サ
掲告ふ、な資バ。
載を化崎る源の

祝 進 水

漁勢水産有限会社が「浜の担い手漁船リース事業」を活用して建造した第37金比羅丸(まき網漁船附属船19トン)が28日に進水。鶴見から賑やかな様子が届いた。



「クルマエビ放流方法の見直し」に水産研究部長賞

県農林水産研究指導センター水産研究部(古川英一部長)は2月5日、大分市で大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会を開催し、研究員、普及員らが12課題の研究成果について報告した。県の水産技術職員が調査・研究・普及成果を発表し、意見交換を行い技術の研鑽を図るもので、毎年開催されている。

優れた報告として、中部振興局の三代和樹主任が発表した「臼杵地区におけるクルマエビの放流方法の見直しと標識放流」に水産研究部長賞が、また、北部水産グループの吉岡宗祐研究員が発表した「エノハ受精卵のミズカビ防除試験」に北部水産グループ長賞が選ばれた。

クルマエビの中間育成、放流は多くの地区で実施されており感心が高いことから、報告の概要を紹介する。

網こ後たげは 造あが部 ①【方法】
内とにめ捨、種のっ簡が從放
にか大、て囲苗改た単浮来流
入ら量そるいの良こにいの方
っ、斃のよ網受をと出て囲法
て満死衝うの入行か入、いの
丁寧時発に受か方ま、出流で直
にに生よ入ら法し網来種はし
受船しりれ種にた下る苗、
入でて受て苗つ。部構や網
れ囲い入いをい の造外の
すいたれた投て 構で敵下

のし流こが方少すのの 【目的】
確とにで多かしが放漁臼
認標む、くらて、流獲杵
を識け効聞はお漁が量地
行放て果か放り獲長を区
い流、的れ流、量年増で
まに放なてに現は続やは
しよ流クい消場近けす、
たる方ルま極の年らたク
。放法マし的漁著れめル
流のエたな業してにマ
効見ビ。意者くい種エ
果直放そ見の減ま苗ビ

島 ②る漁関 る
車令放方業係い方
え和流法者者ず法
び2効でのでれに
養年果行方何の変
殖度のいが度取更
株の確ま自も組し
式種認し分協にま
会苗 たた議つし
社放。ちをいた
産流。で行て。
4(出いも
0姫 来、

流囲種いにのせ千
しい苗ま対協て尾
ま網はしし力、、
しでそたての県平
た馴の。右下立均
。致他尾尾、海体
さの肢肢半洋長
せ種力の数科6
、苗ツカの学5
翌とトツ2高mm
日併さト0等一
にせれを千学に
放てた行尾校併



衝撃を与えず丁寧に受入れを行う様子



高校生、市役所、漁協、振興局総出でカットを行う様子

き協がのた出漁当エ か域れこお加1との しにに 【結果】
た議、復。し業初ビ自りまたといえ0が放またつ加取組
いを引活まて者はを分まで個かてて%確流た。いえ組
としきにだもの放実たし移体ら標、以認効、て、の
思な続はまら方流際た動が、識1上で果市も受結
いがき至だうもににで。し約個1・きが場も確入果
いま現っくよ前消漁尾。し4杵体月重ま得調認め、
す取場てルう向極獲肢 いヶ地がに量しら査で後網
。りのいマにきのすカ る月区確はべたれのきの下
組漁まエビり意あこと こでで認佐一(て結 ま大部
ん業せビり見ととし と県放さ伯ス混い果 せ量の
で者ん資ま見とし も南流れ湾)入る一 ん斃改
いと 源しをたでた わ海さたに。率こ定 で死善

県議会第1回定例会 水産関係質問の要旨



代表質問をする古手川議員

【質問】古手川議員
栄えある第1回大会が昭和56年に旧鶴見町で開催されたから約40年が経過し、遠くから沿岸への流れや漁業者の減少・高齢化の進行など、本県水産業を取り巻く情勢は大きく様変わりした。厳しい状況に置かれた本県漁業関係者を元気づけたとともに、改めて県産魚の魅力をもっと発信し、消費の拡大に結びつけるために、本大会の開催は、大変意義深い。今後、2巡目の大分県開催に向け検討する

◎全国豊かな海づくり大会について

1 県の議会は3月5日及び8日に代表質問を、9日から1
見（日の3日は民間に一般質問を行った。古手川正治氏（津久
の2巡目は自民党を代表し、「全国豊かな海づくり大会」
（日出町）は改正漁業法を踏まえた本県水産資源の回復
木付親次氏（国東市）は先駆的技術による水産振興に農林
水産業の創出額増加に向けた取組について聞いた。は農林

【答弁】広瀬知事

天皇、式典や皇后陛下をお迎えし、「水産資源の保護や管理」と「海や河川の環境保全の大切さ」を広く国民に訴え、我が国漁業の振興と発展を願う式典以外にも、各地の海や河川で県民が参加し種苗放流を行うほか、県産魚を見て、流し、食べる等の関連行事が行われる。これらイベントを通して「つくり育てる漁業」の重要性を漁業者はもちろんの県民とも共有し、水産業への理解を広く浸透させることができる。そして家庭や飲食店などの県産魚消費を喚起するとともに、水産業への就業につなぐものも期待される。深刻になりつつあるプラスチックごみの問題もアピールしたい。

大会の開催は天然のブランド魚はもとより、全国有数の生産量を誇る養殖魚など、多種高単価な魚種を産する本品種産業を全国に発信する場として、絶好の機会になると考える。できるだけ早い時期

◎水産資源の回復について

【質問】三浦議員

[illegible]

【答弁】広瀬知事

るため、国の資源を持続的に利用する。9. 国漁獲量の8割を網羅するとして維持・増大に水産資源の回復・組む。TAC制度の拡充に向け、資源管理方針を策定し、全ての漁業者、漁獲量を報告し、てもらい、漁獲可能量を超過する恐れがある場合には、捕獲停止を命じるなど、資源管理を徹底する。

また、種苗放流と資源管理を一体的に取り組み、資源の増加を図る。漁協等で定める漁獲サイズ、制限などを遵守する場合には、漁業者が放流する種苗に、種苗を上乘せし、支援するが、本年度から資源管理の内容をこれまで以上に強化した場合の支援を拡大した。

さらに、来年度は放流種苗

事業場の生産設備の導入を導いて、2割増を目指す。和4年度竣工をめざす。漁業者から要望の強いキジハタなどの高級魚にも対応するなどの強化を図る。種苗生産体制の強化を図る。

◎水産振興について

【質問】木付議員
り、漁業は漁村の産業基盤であ
本所得の漁業向上が欠かれない
業所の漁業生産額は40億
円前後の推移が生じ、02年を
円の高い養殖業が3分の2を
占め、下支えしている。国東市

【質問】木付議員

でも、シングルシード方式による「く」にさきOYSTERSとなる「年」間15万個の出荷をR―が養殖され、地域の振興に指して養殖として、また、磯焼となる産品といる。また、磯焼に貢献してゐる。また、磯焼に「対策」で駆除したムラサキウニを漁業者から買い取り、陸上で専用飼料で育成、販売する「大分」うスモデールとして注目の事例が、漁業生産額の底上げや輸出につながる。70年ぶりに漁業法が改正され、本県漁業政策も大きな岐路に差し掛かっているが、今後の水産業振興について、今後の水産業の活性化には、新技術の導入等で生産性を高め、水産物をマーケットへ安定的に供給することが重要。カキの養殖では、シングルシード方式を導入し、生食用としての有

【答弁】大友農林

利販、生産性向上による産
 地拡大を進める。また、カ
 衛生管理プログラムへの承
 よ。の今後の輸出に期待す
 R。マグロ養殖では、赤潮
 生。水深から避難できる大
 式。の養殖手法を確立し普
 図る。ヒラメ養殖では、緑
 E D。による養殖期間の短縮
 種苗の生産により、出荷端
 期を解消。このように出荷
 殖技術や機器の導入により
 産効率は向上させる取組を
 けるとともに、マーケット
 ニーズに対応した生産体制
 構築により水産振興を図る。

て◎農村水産業の倉出額について

【質問】二ノ宮議員
創出額2650億円の実現し
達成するためのには、コロナ禍
を契機とした生活様式の変化
に柔軟に対応した生産・流通
への販売体制の確立、移住就
農に即応した農林水産業全般
にわたる新たな施策展開が重
要だと考える農林水産業の取
組。について、知事の考えを伺
う。

【答弁】広瀬知事
コロナ禍を乗り越えて、本
県の活力づくりを進めるため
県の活力づくりを2015の取
組をしつかりと進める。取
組を、生産構造の改革とし
て、農業では米の需要減少を
踏まえ、(▼4面に続く)

【質問】二ノ宮議員

う。糸の
し
先
事
の
ス
を
イ

コロナ禍を乗り越えて、本

活力創出プラン2015の取

まず、生産構造の改革とし

踏まえ、
(▼4面に続く)

て討場朽場 協構競的「こ対大
はしの化のま力想争な生としき山
耐て整が統ずをに力整産に国な本
震い備進合、要つ強備抛謝の影組
強るはむ構「請い化に点意強響合
化こ、葛想佐して「よとを力を長
にと統港に伯た説とる流表な受は
加。合とつ市。明題地通明支け、
え整も鶴い公。しし域抛し援たコ
、備含見て設、て水点たを漁口
衛にめの「卸、理4産のの受業ナ
生際て2、売、解点業一ちけ者禍
管し検市老市とのの体、たにで

地域水産業の競争力強化を



漁港議連ヒアで山本組合長

漁港漁場漁村整備促進議連(衛藤 征士郎会長)は24日、次期長期計画の策定に向け第2回漁港漁場整備長期計画検討委員会(鈴木俊一委員長)を都内の自民党本部で開催した。関係者ヒアリングでは、青森県佐井村の樋口秀視村長及び大分県漁業協同組合の山本勇代表理事組合長の報告を聴いた。



た可揚検施ルこそりこ施を需加1場 し部のこの被がら下海 見て目あ分担口 と理
。能げ討設産とののはと設大要工0に最たに安と被害悪、有水3込お指るでう養次を型
性施し整地か産輸。能幅増処年関後いお全。損やく地敷交点まりしこは長殖い説施
が設、備計ら地出こ力に大理のすにこい確湾被台、形の換目れ、てとな田にで明設
あの新を画、の重のの超に施節る、とて保内害風有的養対とる輸防。く漁つ、しと
る整た含を当一点よ限えよ設目取「等作をの等避害特殖策しこ出波令生港い「たす
こ備なめ策漁つ品う界るりはを組新をれ図水が難赤性産にてと等堤和産はて長。る
とが加た定協に目なに稼計、迎にた説いの質頻時潮か地つ、をの6活外「田 必
を必工課すは指に中達働画産えつな明工た改発のにらでい「説販整年動郭、地 要
説要施題るグ定、し状処地たい水し事め善しよ海あて入明路備のに施陸区 が
明と設をたロさ本養て況理加水て産たを、とてける水り「津し拡を完影設場の ある
しなや整めしれ県殖いで尾工産「加。実湾航いス漁交な、湾た大行成響がげマ るこ
る陸理、バたはづる、数の物、工 施口路る網業換が県の。がっをが十をグ こ

② 2020年の資源解析結果

をえ源供主析るを産析在量チ大るれタ 低1(0共を0がトに0記7ウ統つ大釣
行ら解す的結タ行関に水推ウ分。、チ大の3伊年販下1、ン転0録0才計で分り大
つれ析るな果チっ係よ産定才県2生ウ分漁6予のデ回3以をじ0し0漁年あ県を分
たる結。資をウて、り研の資海0態才県獲ト灘漁しっ年降記2年た0獲報るに中県
。資果今源報才お資、究試源域0的調で量ン3獲タて以再録0に後ト量に。と心の
源を回管告漁り源資部みがに0知査はと「7量に降びし0入減ンはよ漁にタ
管報2理し業、診源でが現ど年見。1なとトはよるは減全7る少を、る業て漁チ
理0の、者毎断量は行存の代を研9るン1れ。1少国年とに超1大、重獲ウ
措し2検漁検年や推コわすくに収究9見り、7ば大0に1に徐転え9分養要さオ
置、0討業討開将定ホれるら入集が3込、豊3、分0転位4々じる8県殖魚れは
の現年材者会催来やしたかいるし開年み過後ト2県0じと0にた漁4の業種て、
提在の料のでさ予再ト。資のとて始か。去水ン0漁ト、な4増。獲年タ生のお近
言考資に自解れ測生解現源タ、いさら 最道 2協ン2る3加2をにチ産一り年

① 研究の背景と目的

タチウオ資源調査発表要旨

の0
資ト近
源ン年
量産
は下卵
3回親
0り重
ト2量
ン0が
を22
下00
回年0

③ 資源管理の方策の提言

が資状シ減
必源維ミ少現
要回持ユし状
で復にレ、の予
あにはし近F測
るは6シの
。75ヨ将ま
0%ン来ま
%Fさ枯で
Fをれ渴は
の削たす資
削減。る源
減し現とは

○必をるFきと
要も。3くす現
。っ漁0超る状
と獲%えFの
取圧S、MF関
りをP乱Aは係
残下R獲X1
すげをの0
取て超目・8
り産え安63
組卵てと5で
み親いなを目
が魚る大標

漁○のなみ残低
獲漁後卓がしと親
数獲数越必、な魚関
の圧年要加っ量係
(は級。入たも)
「豊群2を。加
「漁が0呼産入
とが発0び卵尾
親続生5込親数
魚くす年む魚も
量。るの取を過
及とより取去
びそう組み最

魚○必き高%資源0県9
の再生。き漁超に況ト域か0
再。漁獲え対のンら2
要。獲圧てす悪をタ大0
係。圧とおる化下チ幅の
(親。下、獲進っオ減源割
魚。下、獲進っオ減源割
量。るい然合でお源しは
と。取るともいり量、2
0組。し5る、は大0
歳が引て0。資3分1

いあシあが今う実析にめもな本じ取に を(
。っッる一後に態を与に検く県る組置タ得本
たプ国丸検摺の行え愛討、漁。のかチた稿
解を(と討り異うる媛し漁業例強れウの掲
析と水なが合な必影県て場者え化てオで載
をり研い、要る要響大頂をだばが必り源追際
進、等、必せデがも中き共け漁必り源追際
め両「知。てしあ考また有の獲要、は記し
て県が見国解タる慮きいす取圧で資敵す著
頂のりやや析をがし網。る組のあ源しる者
き実し経関すど、資がそ愛だ削る管い。の
た情ダ験係るの操源資の媛け減と理状「見
にし「の県かよ業解源た県では感の況 解

究を引と前行削 て月てに暦仔い発長りに が親ばっ
部引す、のう減以いかおかの調る生が、は今必魚子た
のきる③小こに上るらりけ1査。し早春春ま要重供。
提続た卓型とたのこ新、て5でまてく生生でと量は人
言きめ越魚、めこと月タの日のたい、まのなを人間
と行に年②にとがのチ採以卵、る卓れれ知っ減まで
さう春級保産休かわ潮ウ集降採4こ越のと見て少れも
せこ産群護卵漁らか回オ数満集「と年タ秋かいさな親
てと卵のをにを①っりはが月状7が級チ生らるせい
頂を期発行加引漁てで春多か況月わ群ウまタ。なのい
い水の生う入き獲い産にくらはのかがオれチ いでな
た産休をこす続圧る卵はな新、卵っ多はがウ 取産け
。研漁誘 るきの。し満っ月旧稚てく成あオ 組卵れ

本主	郎、	佐	課	加	売	業	經	店	課	營	補	政	登	伸	支	正	買	【
介、	(日	出	長	工	購	事	計	會	渡	理	佐	用	長	弘	店	興	課	本
臨	共	販	船	施	枿	業	担	計	邊	課	三	藤	補	▽	信	▽	長	】
時	所	長	茂	設	一	販	當	担	美	原	晉	木	佐	總	用	信	(	▽
	山	口	、	場	課	壳	囑	託	奈	一	郎	孝	務	務	事	業	經	經
	次	橋	橋	兼	役	長	託	上	浦	部	總	之	助	課	部	長	業	事
				業	水	野	松	義	人	售	務	▽	總	正	長	兼	部	部
				務	產	定	田	義	人	賣	課	務	務	職	津	水	高	購
				1	物	勝	義	人	支	經	長	漁	課	員	津	橋	橋	購

役員改選の年を迎え、事業の円滑な推進を念頭に人事異動を実施した。

人事異動

(4月1日付)

23日、本年度の第9回理事会を開催した。第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「固定資産の処分について」(中津支店)、第3号議案「JFマリンバンク」に賛成多数で可決した。

第9回理事会を開催

御 礼

大分県徳連会長などの要職を歴任され
3月12日にご逝去された故藤谷新一様
の生前のご意志により 海難遺児募金を
賜りました
ここに 謹んでご報告申し上げます

也、橋本圭輔
 【本店・日出共販所】所長
 (副所長) 本田秀和
 【中津支店】購買・利用担当
 (正職員登用) 矢野奈津李
 【宇佐支店】業務担当(業務課主任) 河野照美
 【杵築支店】信用課(正職員登用) 白石舞
 【佐賀関支店】支店長(経済事業部販売課長) 佐藤京介▽
 総務課専門員(支店長囑託) 坂井伊智郎▽
 販売課主任 大本益生、主任(販売課) 古本浩人、販売課(経済事業部販売課) 須川晃汰
 【佐伯支店】信用担当(米水津支店信用担当) 小畑貴恵
 【鶴見支店】支店長(支店長)

理事(臨時)杉崎尚子、(新規採用)久米達也▽經濟事業部購買課長補佐(經濟事業部購買課長補佐)染矢拓宏▽信用事業部審查課長補佐(信用事業部購買課長補佐)

網の變更について、第4
号議案「運営委員選挙
並びに立会人の選任管
て、第5号議案「地区
て、第6号議案「地区
運営委員選挙規則の「
て、第7号議案「北

永洋一▽販売1課係長（東営）	業（店）主（任）安倍秋馬、販売1	課（販）2課市樂航▽東	営業店兼大島営業店長（大島	営業店主（任）澤田勝則、東	業（店）員（東）営業店主（任）中	路秀治、東営業店臨時（新規	採用（下入）津支店・購買・共済担	當主（任）（購買・共済担当）村	松（づ）み・信用・購買担当主	任（信用・購買担当）木許絵	美、信用担当主（任）（信用担	當（竹）内智子、販売担当（正	職員登用）管谷統吾	【水産物加工処理施設】工場	長兼業務1課長（米水津支店	長）大田信行、業務1課販売	担当（正職員登用）白石真大
----------------	------------------	-------------	---------------	---------------	------------------	---------------	------------------	-----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	-----------	---------------	---------------	---------------	---------------

子課員(代理)
長(信用)山口和彦、
主(支店課長)川井、
任(信用課長)山田正喜、
(総務課)三井野村、
亮三井太陽信門、
太

約の1部変更につ
 8号議案「組合員
 員会の結果報告に
 び第9号議案「役
 保険の加入一つに
 を上程し、一つに
 含めてい「余も承
 報「また、「い、裕
 度・上「半期監査
 て「令和2年度
 込みに「い、決
 漁協、日、本漁船
 県支所、全国漁業
 会大分支所の改選
 ケジュール支及漁
 信基の運営方針に
 告した。

ランド・4月のイベント情報

佐伯水産品のったりイベント（仮称）
ランド3店舗を佐伯産品で埋め尽くす試み
（時期未定）
くにさき銀たち
OPAでたち重販売イベント
（4～5月予定）



首都圏の緊急事態宣言が解除され、やれやれ水産物の消費も上向きになると期待していた矢先、第4波が頭をもたげてきた。経済対策どころか聖火リレーが始まったビッグイベントの開催も心配になっ
てしまう。
大分は大丈夫と思っていたが、関西から変異株をもらってくる若者もいるわけでも、改めて生活全般で自戒する必要がある。りそうだ。
本日、大分で働き始めて40年が満了する。今夜は満開の桜を楽しみながら、静かに酒を飲もうと思う。

編集後記

心に残る「ウオメシ」、今は豊前海からご紹介！
 回私事にわたり恐縮であるが
 生まれ育った関東と、学生時代以降を過ごした関西、九州では食文化に大きな違いを感じ
 る。

年末、実家の軒先には「新

サカナをたべれば
幸福が見えてくる

ウオ
メシ



段は開にハ惜級洒有、高、Oおがだこ労で「フ4材餅巻
は店休しモノしげ品落有名干田B薦、の西こする美う同リ0年であと鮓
潔く業モ二なく。なな湊市Aめ、魚何日本はそがど様な刺の年もとも「
くてすーを盛に。だ真白Cは料理軒有そば、藷麦屋も身が正たに「
税い？をら特、海映るF「軸ひ数好き豊後高田は月。年。下
込れ？ので産、岸るE「足の蓄には高田は定は。越り
みば即がで、美しゆう貝さ置きの蕎麦は田は番丸分し
1注玉。絶妙の味はひうそばくがあるの特まはた蕎麦とな餅の大げ
0文。瑕不定。景ひ@私る地產は市はの麦「煮したれ、
0。おだが期。一が。Sある地產は市はの麦「煮したれ、切
円。値。